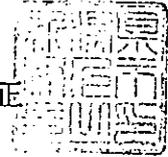


村建第 397 号
平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

新潟県村上市長 大滝 平正



「今後の道路行政についての意見・提案」の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の件
について別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

新潟県村上市

更なる道路整備は不必要などと言われ、道路整備予算の削減が叫ばれているが、公共交通機関が未整備な地方では高規格幹線道路や国・県道を始め市道の整備が十分とは言えない状況にある。

今後は、地方が熱望する真に必要な道路事業には、十分な予算確保が必要である。

○現状

当市には、国道7号が縦貫しているほかに代替道路がなく、災害時には長時間の交通規制による物流の停滞や救急搬送に支障をきたしている。

また、市域広範囲にわたり自然・歴史・伝統・文化が多く点在する。これらは、それぞれの地域におけるすばらしい宝ではありますが、地域内の点としての存在である。

○課題

高規格幹線道路の整備を踏まえた地域づくりを目指しているため、整備遅延による地域計画の見直し、修正が必要となる。

点から線で結び、更に面として連携させることが今後のまちづくりにおいて重要なポイントと捉える。

このためにも、地域間を連携する幹線道路の整備とともに、地域の歴史・文化を活かした道路づくり(電線地中化等)は欠かせない。

②-2 地域の目指すべき将来像

当市は、「自然と環境」「すこやかな社会」「産業・文化が息づく故郷」実現のため、

- ① 安心と安全、人に優しい
- ② 活力と魅力に満ちた
- ③ 参加と連携、ひとがふれあう
- ④ 自然と歴史、文化が香る

の4点を基本方向と捉えた都市づくりを進めている。

こうしたことから、高規格幹線道路、幹線道路網の整備による地域間交流の促進と、美しい自然景観や歴史ある伝統文化など豊富な観光資源を活かした交流人口の増加、災害時の迂回ルートの構築など、快適で安全なまちづくりを進めている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

新潟県村上市村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	高規格幹線道路(日本海沿岸東北自動車道)の整備促進	高規格幹線道路のネットワーク化が図られ、災害時の緊急輸送、救急医療施設への搬送時間短縮や工場誘致による地域活性化、特に庄内地方地への域間交流による物流、観光の促進が期待される。	